



長門の話題

Topics

高校生の目線で若者が働きたい地域を考える ながとミライ会議を開催

2月27日(月)、「ながとミライ会議」が物産観光センターで行われました。若者が地元で働くために必要な教育プログラムの開発や就職に直結するキャリア教育の事業を進めるため、市内高校生の就職に対する意識を聞き出し、高校生の目線から長門市の将来像を描くことを目的としたもの



▲4つのグループに分かれて地域の魅力などを洗い出す

で、長門高校の生徒16人が、東京大学や京都大学など県外の大学生5人とともにワークショップに臨みました。ワークショップでは、どんな長門であれば働きたいか、また他の地域の事例などが話し合わせられ、県外大学生のコーディネートのもと、長門市の将来像を語り合いました。



▲話し合った理想の将来像について発表

ルネッサながとサンクスまつり 芸術とふれあうマーケット

3月5日(日)、ルネッサながとで「サンクスまつり」が開催されました。ロビーでは「Art Market Renaissance」が行われ、市内外からアートクラフト部門に46アーティスト、焼き菓子やサンドイッチなどの飲食部門に10店舗が出店。絵画や布製品、手作りの雑貨などお気に入りの品を求め



▲お気に入りのクラフト製品を買い求める人で賑わう

人で賑わいました。また、ヘアデザイナーとDJによる「Hair cut exhibition」では、実際のモデルを使用し、観客の前でカットを行うパフォーマンスも行われました。この日はアリーナの無料開放やクラシックコンサートも行われ、市内外の多くの来場者で賑わっていました。



▲観客の目の前でされたカットと音楽のパフォーマンス

長門のPeople

ボディボードで夢を与え、夢に向かう。

岡田 吹羽子 さん

(菱海中学校3年(当時) / 油谷駅通出身)



市内の各中学校で卒業式が行われた3月9日(木)、菱海中学校3年の岡田吹羽子さんに、平成28年度の「子ども教育ゆめ基金奨励賞」が贈られました。岡田さんは、昨年10月に静岡県で開催されたアマチュアサーフィンの日本一を決める大会「第10回 ALL JAPAN SURFING GRAND CHAMPION GAMES 2016」のボディボードウィメンズオープンで優勝。ボディボードは海上で行うスポーツの一種で、1m程度の専用ボードに上

半身を乗せ、波に乗る競技です。母親の影響で小学2年生から競技を始め、年間を通して川尻大浜海岸で練習に励んできた岡田さん。「波が近く、自然との関わりを感じられることや、技が決まったときの達成感が魅力。大浜は水がきれいで、レベルアップに適した環境」と話します。今後、県外の高校へ進学し、より充実した環境で技術を磨くという岡田さんは、「全国優勝とプロ大会への出場」を目標に掲げ、さらなる夢に向かいます。



▲ボディボードで技を決める岡田さん

旬な人

豊かな自然環境を未来へ

ながとふるさと緑化プロジェクト

3月3日(金)、西深川の市有林で、「ながとふるさと緑化プロジェクト」が行われ、深川小6年生の児童約100人が参加。山口県長門農林事務所の職員から手順を学びながら、4年生のときに自分たちで拾い、2年間ポットに植えて育ててきたドングリの苗の植栽を行いました。



▲友達と協力して苗を植栽

ひとり暮らしのためのクッキングスクール 春から始まる新生活に向けて

3月10日(金)、進学・就職などで新生活を始める高校3年生を対象に「ひとり暮らしのためのクッキングスクール」が長門市保健センターで開催されました。参加者は簡単に作ることができる「おにぎらず」、「ちしやなます」など5品を調理。実習を通して調理のコツを学びました。



▲長門市食生活改善推進協議会の会員が指導